

(お知らせ)

PLATEAU×“京都”で新たな
価値を創造してください！

令和5年9月26日

京都市都市計画局

担当 まち再生・創造推進室

電話 075-222-3503

「KYOTO PLATEAU HACK 2023」の開催について ～3D都市モデルの可能性を引き出すアイデアを競います～

京都市では、都市計画やまちづくりのデジタルトランスフォーメーションの実現に向け、3D都市モデル^{*}を公開しました。

この度、京都市の3D都市モデルを活用し、その可能性を最大限に引き出すハッカソン^{*}「KYOTO PLATEAU HACK 2023」を開催しますのでお知らせします。

ハッカソンは、3D都市モデルと京都の歴史・文化、営みを掛け合わせてアイデアを発想し、世界を豊かにするサービスやアプリ、クリエイティブコンテンツを2日間にわたって集中的に創り出す開発コンテストです。

3D都市モデルと“京都”を掛け合わせたアイデアを発想し、新たな価値を創造する「KYOTO PLATEAU HACK 2023」に奮って御参加ください！

1 開催日・場所

(1) 開催日

令和5年11月18日(土)、19日(日)の2日間

(2) 場所

京都知恵産業創造の森 オープン・イノベーション・カフェ「KOIN」

所在地：〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地

京都経済センター3階

アクセス：京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」北改札出てすぐ

阪急京都線「烏丸駅」26番出口直結

2 プログラム概要

テーマ：PLATEAU × “京都” × ??

3D都市モデルと“京都”を掛け合わせアイデアを発想し、新たな価値を創造してください。

個人で参加して即席チームを作っても、仲間とチームでの参加も歓迎です。当日は、テクニカルサポーターがアイデアのブラッシュアップと試作品作りのテクニカルアドバイスをを行います。また、PLATEAU 初心者の方でも理解できるよう、現地でのサポートも実施します。

■11月18日(土)

10:00-10:45 オープニング、進行説明

10:45-12:30 アイデア発想、チームビルディング

12:30-13:30 チームアイデアソン・ランチ

13:30-14:00 開発方針発表、サポーター紹介

14:30-18:30 ハッカソン

18:30-19:00 中間共有、解散

■11月19日(日)

10:00-10:10 オープニング

10:10-16:00 ハッカソン

16:00-18:00 成果発表会

18:00-18:30 審査、交流時間

18:30-19:00 結果発表

19:00-19:30 クロージング

※プログラムの詳細は変更になることがあります。

3 プログラム詳細・申込方法等

(1) プログラム詳細・申込方法

ウェブサイトを御覧いただき、お申込みください。

<https://connpass.com/event/296220/>

(2) 募集締切

令和5年11月10日（金）

(3) 定員

参加者30名（事前申込制／先着順） 参加費：無料

オンライン視聴30名（事前申込制／先着順）

※ 個人・チーム（グループ）どちらでも応募可。チームの場合は、チームメンバー全員でお申し込みください。



詳細・申込サイト
二次元コード

4 問合せ先

角川アスキー総合研究所（業務受託事業者）

お問い合わせフォーム

<https://secure.xross.jp/?key=261a9ca60cb429fbae83fbc1811f11de94e312>





お問い合わせフォーム
二次元コード

【参考】

■3D都市モデルとは

3D都市モデルとは、建築物や土木構造物の三次元形状や情報を仮想空間に再現する都市空間情報プラットフォームです。現在、様々な領域における新たなサービスやイノベーションの創出が進みつつあります、

3D都市モデルは、インターネット上で誰でも閲覧やダウンロードすることができ、様々な領域における新たなサービスやイノベーションの創出、シミュレーションへの活用が可能です。

閲覧サイト	ダウンロードサイト
【PLATEAU VIEW (プラトービュー)公式サイト】 https://plateauview.mlit.go.jp/ 【PLATEAU VIEW の二次元コード】 	【G 空間情報センター公式サイト】 https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/plateau 【G 空間情報センターの二次元コード】 

■ハッカソンとは

新たな価値を創出するオープンイノベーションの場として、アイデアをもとに即席でチームをつくり、自らの技術を持ち寄り、新しいサービスやアプリケーション、コンテンツなどを短期間で集中的に開発し、成果を競い合う開発コンテストです。